

1

誤嚥性肺炎 ゼロプロジェクト

私の義父も誤嚥性肺炎で苦しんだ。
病気だから仕方ないと思っていた。
ある看護師から西区にゼロにしようと頑張る施設
があると聞く。【特別養護老人ホームマナハウス】



小金丸施設長は、「週二回きちんと、しっかりとやれば良いと分かった。職員全員でやろうと決めて研修を受けた。」

劇的な変化があった。
年間で入院回数が1/2に、入院日数が1/4に。
結果1,200万円の增收、4,200万円医療費削減。



国会議員との連携で全国に広め
皆さんの笑顔を広めて参ります。

3つの挑戦
国会議員とタッグを組んで!!

2

AI(人工知能)を 活用した防災対策

福岡県は、4年連続して50年に一度と言われる豪雨災害に見舞われる。

- ハザードマップの更新が必要。
- 罹災証明の発行に一ヶ月以上かかる。

【(株)アリスマートが二つの課題を解決】



しくみはドローンでデータを撮り、AIで解析することで3Dで1cm単位で表示できるようになった。

- 雨量を変えて、自在にAIで浸水予測可能。
- 人吉の豪雨災害で保険会社が被害査定に活用済。



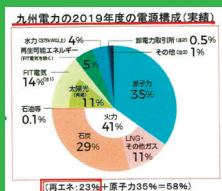
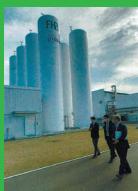
決算特別委員会で質問

2020年5月国の防災基本計画にAI等を活用することを記載。

国会議員との連携でAIを活用した防災対策を実現したい。

3

脱炭素社会へ



総理の宣言後、脱炭素の歯車が一気に回転しました。

洋上風力発電は全国で原発45基分を建設予定、車を始め運輸部門、鉄鋼など製造部門も脱炭素を宣言。そして世界の環境投資先は、脱炭素の企業、地域を選択。九州の脱炭素比率58%はドイツ以上。日本のトップランナー九州は、脱炭素と経済発展を両立できる地域。私は、水素社会を目指す。福岡県は1901年八幡製鉄所から日本のエネルギー革命が始まった原点の地だから!

日本は、脱炭素の流れから遅れていた。しかし、2020年9月15日公明党と自民党が交わした政権合意の中に「持続可能で強靭な脱炭素社会の構築に努める。」の一文が入り、同年10月26日菅総理最初の所信表明で

- ①2050年脱炭素社会の実現をここに宣言します。
- ②世界のグリーン産業をけん引し経済と環境の好循環を作り出していく参ります。と発言。



水素研究の世界的権威
佐々木一成九大副学長と

新開昌彦プロフィール

昭和32年6月生 西新小、百道中、大濠高校23回、創価大学7期卒業
津田産業(株)入社、神崎武法衆院議員秘書15年、平成11年から県議
6期当選

facebook

フェイスブックは
こちらです。➡

<https://www.facebook.com/shinkai.masahiko>

